

令和4年度 4月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	18回
2	延べ従事補導委員数	36人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	333人



4月の補導日誌から

4月4日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 浅科地区の公園（舟久保団地内・中津橋・十二川原・庄ノ上・駒寄・菖蒲池・泉）八幡神社、浅科図書館、あさしな児童館

補導の様子

街頭補導に出発した時は小雨であったが、途中から雨が上がる天気の中、浅科地区内の街頭補導活動を行った。7か所の公園を訪問したが、いずれの公園とも人影はなかった。また、公園内の四阿や遊具の点検を実施したが、破損・落書き・ごみ等はなく、きれいに利用されていることがうかがえた。浅科図書館は休館日だった。あさしな児童館では、20数名の児童が利用していた。職員の方にお話をうかがうと「入学予定の新1年生も来館しています。春休み当初は30数名の児童が来ていましたが、4月に入って来館児童は減少傾向となっています」とのことだった。コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用、手指消毒、室内換気を徹底しているが、子どもの特性か遊びに夢中になるとソーシャルディスタンスが保てなくなり、そのことが心配ともおっしゃっていた。



4月6日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 望月地区巡回 布施温泉公園 → 善郷寺団地内の公園
→ 望月児童館 → 佐久良公園 → 若駒児童公園

補導の様子

雪化粧の浅間山とは対照的に、春の心地よい日差しの中、望月地区内の街頭補導活動を行った。布施温泉公園、および佐久良公園には子どもの姿は見られなかったが、子どもたちの歓声が響くのも間近だと感じられた。善郷寺団地内の公園には女子2名、男子1名の中学生が談笑していた。入学式・始業式を終え、この4月から3年生だという。中学校での生活や部活動のことなど、問いかけに明るく応答してくれた。若駒児童公園では、女子2名、男子2名の中学生グループに話を聞くことができた。こちらからあいさつし、笑顔で話しかけると、最初は警戒した様子も見られたが、徐々に打ち解け、いろいろな話をしてくれた。屈託のない生徒たちの姿に好感が持てた。児童館では館長さんに話を伺った。入学式・始業式当日で、15名くらいの児童が館を利用したという。コロナウイルス感染防止に十分配慮しつつ、健全な施設運営を行うことの大変さが身に染みた。

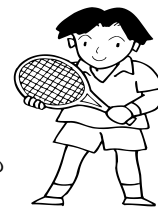
4月7日(木)

専門補導委員 記

巡回経路 駒場公園 → 駒場区団地内ひよこ公園 → 駒場北公園
→ 新子田八幡神社 → 東会館 → 旧志賀小グラウンド
→ 香坂区公園 → 安原公民館 → 紅雲台区公園 → 鼻顔公園

補導の様子

小雨まじりの時間帯であったが、駒場公園ではテニスやマレットゴルフ、弓道などを楽しむ人たち20人程と出会った。また、屋内プールの前には10数台の自転車が停まっていたが、公園には子どもたちの姿はなかった。東会館に初めて立ち寄った。学習室があり中高生が利用するにはよい環境だと感じた。旧志賀小のグラウンドでは、小学生の男子が5~6人遊んでいたので話しかけた。元気のいいあいさつが返ってきた。新6年生になった子どもたちで、外遊びを楽しむ様子は好印象だった。安原公民館前の広場では、10人程の小学生が集まってキックベースボールをしていた。下校後帰宅してから公園を訪れ、学年を超えて地域の子どもたちが集まって遊んでいる様子が見られてうれしく感じた。



4月8日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 成知公園 → 旧中込学校資料館事務所 → 中込児童館

補導の様子

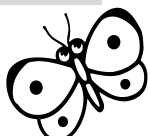
市内の小中学校も入学式が終わり、新しい年度がスタートした。成知公園へ向かう狭い路地で、道の端に避けてくれた女子中学生3人に、「ありがとう」と声をかけると笑顔と会釈が返ってきた。コミュニケーションの取り方が上手だと思った。成知公園では、20人程の親子連れが遊具で遊び、広場では小学生4人がサッカーをしていた。親子連れに話を聞くと「広くて遊具もいくつもあり、使い勝手がいい」と話してくれた。近所なのでよく利用するようだ。旧中込学校資料館事務所にあいさつし、子どもたちの公園等の利用の仕方を聞いてみると、特に問題はないとのことであった。中込児童館では、新館長さんにあいさつし子どもたちの様子をうかがった。今日は42人の利用があり、子どもたちは元気いっぱいのだ。

4月11日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 アミューズメント施設 → 久保田公園 → 大型ゲームセンター → ネットカフェ
→ ゲームセンター → 曾根公園 → 仙祿湖公園 → 中央公園

補導の様子



ここ数日の初夏を思わせる陽気に、桜も一気に花を開いた。コロナ禍の新学期、子どもたちの姿をあれこれ思い浮かべながら浅間地区内の街頭補導活動に向かった。アミューズメント施設のゲームセンターでは人影は見られなかった。大型ゲームセンターでは、男子中学生がゲームを楽しんでいた。学校が早く終わり、母親と訪れていると答えてくれた。中1だというこの生徒は、問いかけに素直に応じてくれた。ネットカフェで店長さんに近況をうかがうと、客足は4月から減少しているとのこと。ゲームセンターでは数名の客を見かけたが、学生らしき客は見当たらなかった。「子どもたちは土日の利用が中心で、特に問題となる事案はない」と店長さんが話してくれた。久保田公

園、曾根公園、仙祿湖公園に児童・生徒の姿はなかった。下校途中の中・高校生を数多く見かけた。歩道の前で一時停車し道を譲ると、にこやかに会釈して家路を急ぐ女子中学生の姿が印象に残った。

4月12日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 泉・岸野・高瀬・中佐都・佐久平浅間・岩村田小学校区内の通学路及び児童館
補導の様子

市内の多くの小学校は、4月6日に入学式・始業式があり、本日でちょうど1週間となった。春の交通安全運動期間が始まり、また学校生活に慣れ緊張感が和らぎかける頃かと思い、安全点検や下校時の様子を確認するため通学路を重点に巡回した。下校時間帯と重なり、多くの児童が帰路に向かっていた。集団下校している中に真新しいランドセルを背負う新入生の姿があった。ふざけるような素振りはなく、整然と歩みを進めていた。『自転車通行可』となっている歩道を10台くらいの自転車が並列で走っていた。声かけすると、中学に入学したばかりの1年生とのこと。自転車を運転するときは、並列にならず一列で走行するよう指導した。全員が素直に話を聞いており、その後一列になって走り去って行った。走り去る後姿を見て、希望に満ちた明るい中学生を送って欲しいと願った。

4月13日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
補導の様子

高曇りの空に満開の桜が輝いて見える。急な降雨を気にしながら、佐久地区の街頭補導活動に向かった。市民交流ひろばは、多くの親子連れでにぎわっていた。遊具で遊ぶ子どもの姿を、傍らで見守る若い親たちの温かい視線が心を和ませた。管理人さんの話では、建物や自動販売機等の破損はないが、夜にたむろして喫煙する若者の姿が気になったという。ミレニアムパークのプレイサークルでは6名ほどがスケートボードを楽しんでいた。親子連れで来たという父親が、施設の運営に感謝しつつ、老朽化した滑走面の改修を望んでいた。佐久平駅の小海線ホームは、既に列車が出た後で人影はなかった。大型スーパーのゲームセンターでは、子どもたちがゲームを楽しんでいた。近くで見守る親の姿も散見された。プリクラコーナーには数名の女子高校生が楽しそうに撮影する姿が見られた。フードコートには勉強中の高校生もおおり、迷惑行為は見受けられない。2人連れの男子高校生は野球部の生徒だという。こちらの問いかけに真摯に答えてくれた。大会の健闘を祈りつつ、笑顔で別れた。

4月14日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 稲荷山公園 → 五稜郭公園 → 田口小学校 → 佐久総合運動公園
→ 駒場公園 → 県立武道館周辺 → 湯川親水公園 → 王城公園
補導の様子

満開の桜に冷たい雨が降り注いでいる。春爛漫とはいえ、この肌寒さには閉口する。稲荷山公園では何人かの花見客に出会ったが、学生らしき人影は見当たらない。五稜郭公園でも人影はまばらだが、隣接の田口小学校の校庭では、多くの児童が元気よく走り回っている。



あいさつすると、明るくあいさつを返してくれた。佐久総合運動公園、駒場公園では活動する人の姿はない。巡回中、下校途中の小・中学生を何人か見かけたが、その多くが一人で、足早に帰宅していた。県立武道館、湯川親水公園、王城公園とも児童生徒の姿はなかった。県内の新型コロナウイルス新規感染者数が連日過去最多を更新している中、子どもたちの生活も制約を受け、大きなストレスを抱えているに違いない。今年の春の桜が、少しでも心の癒しになるとうれしい。

4月15日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 切原児童館 → 臼田図書館 → 下の宮児童公園 → 取出町ふれあい公園 → 臼田児童館
補導の様子

雨雲が垂れ込め雨に打たれて桜花も散り急いでいる。切原児童館では小学校が参観日のため、子どもたちの姿は見られない。館長さんにかがうと、「児童館で活動する小学生は少人数で、とても和やかに生活している」とのこと。また、体温チェック、アルコール消毒など、感染症対策に万全を期している様子がうかがえた。臼田図書館は自習の利用も可能だという。「児童生徒の利用は多いとは言えないが、図書館の利用に問題はない」とのこと。下の宮児童公園には、6名程の小学生が遊んでいた。「こんにちは」と声をかけると、人なつこそうな子どもたちが寄ってきた。明るく「こんにちは」とあいさつを返してくれた。「今日は参観日で、早めに学校が終わった」という。ボール遊び、ブランコ乗り、ゲーム等、思い思いに楽しんでいる。学年や性別にかかわらず交流できるこうした公園の存在は、とてもありがたいと感じた。臼田児童館でも、参観日のため児童の姿はなかったが、大勢の子どもたちを3名の職員で支えることの大変さが実感できた。

4月18日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 泉児童館 → 泉団地公園 → 前山地区グラウンド → さくらいこどもひろば
補導の様子

朝からの小雨は、街頭補導活動に出かける頃には本降りとなっていた。桜の花びらが歩道で濡れている。泉地区の通学路では、傘を差した児童たちが家路を急いでいた。雨の日の登下校は交通にも十分注意が必要だが、車道にはみ出してしまいう子もいて、注意を喚起しながら街頭補導活動を行った。泉児童館では、親を待つ子どもたちが、体を動かしたり、ピアノを弾いたり、また宿題をやったりと、各々の時間を過ごしている。館長さんに最近の様子をかがうと、「家庭訪問が始まり、当日は39名程の利用があった。新型コロナウイルス感染を心配する保護者の問い合わせもあるが、濃厚接触を避けて生活させることの難しさを痛感している」とのことであった。泉団地公園、前山地区グラウンド、さくらいこどもひろばには、この雨の中、人影はなかった。各地区の公園、ひろば、グラウンドなど、佐久市には、子どもたちが屋外で活動できる施設が充実していると感じた。



4月19日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 中込・野沢地区内の公園（佐久総合運動・水上・横町・中嶋・原・城山）、児童館
補導の様子

佐久総合運動公園では、マレットゴルフを楽しむ男女が大勢いたが、高齢者のみで若いプレイヤーの姿はなかった。水上公園・横町公園・中嶋公園には人影はなかった。野沢児童館を訪問したところ、約80名の児童が来館し、館内外で元気よく遊んでいた。職員にお話をうかがうと、「新1年生の利用が多く今日は30名位が来ています。コロナ感染防止のため三密や換気に気を使っています。三密について子どもに注意していますが、なかなかできない子どももいます」と館の様子を話してくれた。原公園では、小学校低学年の兄弟が無心になって昆虫網を使って蝶を追いかけていた。城山公園では、未就学児を連れた親子や下校後やって来たという小学生がボール遊びや東屋で漢字や算数のドリル帳を開いて勉強していた。午後5時の音楽がなったら帰るよう約束して別れた。

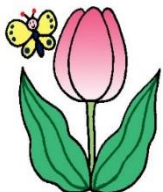
4月20日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 岩村田駅 → 佐久平駅 → 大型スーパー(フードコート、ゲームセンター) → 市民交流ひろば → プレイサークル

補導の様子

春爛漫とはいえ、肌寒く、風が強い。岩村田駅の待合室には数名の高校生が列車の到着を待っていた。下り列車が到着すると、大勢の高校生が下りてきた。スマートフォンを片手に、足早に改札を出る生徒が目立つ。佐久平駅では、お土産売場の階で、学習する高校生の姿が見られた。大型スーパーの守衛室であいさつし入店すると、高校生の姿が目立つ。フードコートでも飲食をしたり、ゲームを楽しんだりする高校生が多数見られた。ゲームセンターでも数名の高校生がゲームを楽しんでいたが、親子連れの客が中心であった。市民交流ひろばは、風が強く、気温も低めのため、来場者は少ない。母親の買い物を待っているという3名の中学生が、明るくあいさつしてくれた。プレイサークルでは4名の高校生がバスケットボールを楽しんでいた。時々スケートボード楽しみに来ると言う青年は、「施設はありがたいが、路面が悪く、ボードがすぐ傷んでしまう」と話してくれた。けがをしないように楽しんでプレイするように話すと、笑顔で見送ってくれた。



4月22日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 小諸方面 → 八幡神社 → こどもひろば → 庄ノ上公園 → 十二川原公園
補導の様子

佐久地方に一つ残っている有害自動販売機の確認のために小諸まで足を伸ばしたところ、撤去されていた。近くにいた方によると今年の5月ころ、撤去されたようだ。これで環境面での課題を一つクリアしたことになる。浅科のこどもひろばに立ち寄った。親子連れに話をうかがうと「この辺りは景色もよく、とてもよい環境だ」と話してくれた。十二川原公園では、6人の中学2年生と出会った。こちらの声かけに気持ちよく応じてくれた。将来について「人のために役立つ職業」、「医療関係」、「サクソフォンをやっているので音楽関係」、「教師」等それぞれ夢を語る姿は希望に満ちているように感じた。

4月25日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 平根児童館 → うな沢公園 → 小田井児童館 → 曾根公園 → 久保田公園

補導の様子

桜は散ったが、新緑の美しい季節となった。平根児童館は家庭訪問のため、20～30人ほどの利用があるという。暖かい陽気に誘われて、数名の子ども達が砂遊びをしていた。こちらからあいさつをすると、気持ちのよいあいさつが返ってきた。館長さんは、「コロナ感染に配慮しているが、子ども達のマスク着用には気を遣う」と実情を話してくれた。小田井児童館は、25人の児童が利用していた。思い思いに遊んだり、宿題に取り組んだりして過ごしていた。2名の小学生が寄ってきて、小学校や児童館の様子を話してくれた。明朗な子ども達と話す、幸せな気持ちになる。曾根公園に向かう農道で、車を止めて自転車に乗った小学生に道を譲ると、大きく会釈をしてくれた。曾根公園では1組の親子をみかけたが、久保田公園に人影はなかった。

4月27日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 チャレンジ教室 → 県民佐久運動広場 → 野沢南高校正門前
→ 野沢児童館 → 中嶋公園 → 城山公園 → 原公園

補導の様子

チャレンジ教室は、時間外ということもあって開館していなかった。高校の校門周辺では、徒歩や自転車で帰宅途中の大勢の高校生と出会った。野沢児童館では、広場で大勢の子どもたちが遊んでいた。今日は81名の児童が利用し、その内34名が1年生だという。1年生は同じ運動帽をかぶり走り回ったり、砂場で泥んこ遊びをしたりしていたので、すぐに分かった。1年生らしく元気いっぱい歓声を上げ、和気あいあいの姿であった。城山公園は、親子連れ、小・中・高校生で賑わっていた。30人以上の人が利用していた。小・中・高校生は、声かけに対して気持ちのいいあいさつを返してくれた。公園の中央にある樹木では、親子連れの小学校低学年の児童数人が木登りを楽しんでいた。ここにも懐かしい風景があり、いいなと感じた。

＜4月の補導を終わって。 専門補導委員＞

佐久圏域では、新型コロナウイルス感染症の新規陽性患者数が感染警戒レベル5の基準を下回り、5月2日に感染警戒レベルがこれまでの5から4に引き下げられました。ところが、5月7日には再び感染警戒レベルが5に引き上げられました。感染警戒レベルにより、街頭補導活動の対応が異なりますが、その概要は下記のとおりです。

感染警戒レベル	街頭補導活動の対応
5～6	中止（専門補導委員のみで実施）
4	実施（感染症が心配の方は、欠席されてもかまいません。欠席する場合は事務局にご連絡ください）
1～3	通常通り実施

ご不明な点等ございましたら事務局までご連絡ください。

朝晩はまだ寒い日もありますが、日中は半袖でも過ごせそうな暖かい日も多くなりました。私も専門補導委員で街頭補導を行っていますと、暖かい陽気に誘われ、多くの公園で大勢の子どもたちの大きな歓声が聞こえ、元気の遊ぶ姿を目にする機会が多くなってきました。補導委員の皆さまと再び街頭補導活動ができることを楽しみにしております。